

2017年4月7日

冷蔵庫用コンプレッサ事業の本社機能をシンガポールに設置

パナソニック株式会社は、成長市場であるアジアでの顧客密着を目的に、現在、滋賀県草津市にある冷蔵庫用コンプレッサ事業の本社機能をシンガポールに移転し、現地完結経営による事業のスピードアップを図ります。

当社は、コンプレッサ事業をグローバルに展開しており、特に冷蔵庫用コンプレッサ市場では高性能のインバータ機種においてトップシェアを有しています。主要顧客は全世界に亘っており、現在もシンガポール拠点が中心となって営業対応を行っています。この事業特性を活かし、今回、事業部内のビジネスユニット（RCBU:冷機コンプレッサビジネスユニット）全体をシンガポールにシフトし、現地で完結して迅速に経営判断ができる体制を構築します。

具体的には、現在、シンガポールで冷蔵庫用コンプレッサを製造している、パナソニックAP冷機デバイスシンガポール（略称:PAPRDSG）内に、RCBU本社を設置します。新設のRCBU本社には、スタッフ機能に加え、技術ノウハウや知的財産権なども含めたR&D機能、営業・マーケティング機能を集約します。特に開発面では、現在日本で主に担当している量産開発の機能をシンガポールに移し、現地人材の増強も加速します。また、PAPRDSGの製造機能は、RCマニファクチャリングセンターとして本社機能と一体運営を行い、マザー工場となるべく、さらなる生産性の向上と、IoTを活用した新しいモノづくりに挑戦します。

今回、事業の本社機能を海外拠点に前線化して運営を行う新しい試みに挑戦し、グローバルなB2B事業の成長に向けた大きな原動力としていくとともに、冷蔵庫用コンプレッサ事業の開・製・販が一体となって顧客により緊密に向き合い、グローバル市場でのさらなるプレゼンス向上を図ります。

■パナソニック AP冷機デバイスシンガポール株式会社 概要

所在地	No.1 Bedok South Road, Singapore 469267, THE REPUBLIC OF SINGAPORE
社長	寺崎 温尚 ※RCBU BU長も兼務
設立	1972年3月
事業内容	冷蔵庫用コンプレッサの開発・製造・販売

以上

プレスリリースの内容は発表時のものです。

商品の販売終了や、組織の変更等により、最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。